



# 民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2018年(平成30年)6月15日 第81号



月待の滝 (大子町川山)

(大子町提供)

## 目次

- 会長新年度あいさつ…………… 2
- 県保健福祉部福祉担当部長あいさつ…………… 2
- 県保健福祉部福祉指導課長あいさつ…………… 2
- 全国民生委員指導者研修会に参加して… 3
- 全国児童委員研究協議会に参加して…………… 3
- 平成30年度事業計画書・収支予算書 …… 4
- 平成29年度事業報告書・収支決算書 (計算書類等) …… 5
- 地区民児協だより
  - ・ 東海村…………… 6
  - ・ つくば市…………… 6
  - ・ 利根町…………… 7
  - ・ 下妻市…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8

広げよう 地域に根ざした 思いやり

## 新年度を迎えて



県民児協会長 竹内 昌 信

本年は例年より春の訪れが早く、すでに野山の緑も初夏を思わせる季節となりました。民生委員・児童委員の皆様には日頃より県民児協の運営に多大なご理解とご支援をいただき感謝を申し上げます。

さて、新しい年度を迎え早3カ月が過ぎ、各単位民児協では年間計画の実績向上に向けて地域に対する福祉活動が進行されておられることと思います。昨年「民生委員制度創設100周年・児童委員制度創設70周年」の記念催しが全国で展開されました。本年は大阪府知事、林市蔵氏が提唱した「方面委員制度創設100周年」を迎えます。茨城県では、昨年の12月4日より12日まで県庁行政棟2階において「100周年記念ポスターパネル展」を開催し、さらに県内数カ所と同様のパネル展を

実施し、多くの方々に民生委員・児童委員活動の歴史を理解頂けたことと思います。

そして、近年、社会問題となっている高齢者支援と少子化による児童対策が重要課題として国や県、市町村が一丸となり対応を検討しております。そのような折、私たち民生委員・児童委員は昨年、全国民児連が刊行し、委員皆さんの手元に配布されました「民生委員制度100周年活動強化方策」(人びとの笑顔、安全、安心のために)を基本に今後の民児協定例会や研修会の議題テーマとして討議し、地域の支援者に喜ばれるように人々に信頼と喜びの苗を育む民生委員・児童委員となられますことを心よりご祈念申し上げますご挨拶いたします。

「活力があり、県民が日本一幸せな県」を目指して



茨城県保健福祉部福祉担当部長

関 清一

初夏の候、民生委員・児童委員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、県においては、大井川知事のもと、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を基本理念とする新たな政策ビジョンを策定し、医療、福祉、治安、防災など県民の命を守る基盤を築く「新しい安心安全」へのチャレンジに取り組んでいるところです。

このような取組みに際しましては、関係機関や団体との密接な連携のもと、住民に寄り添って地域課題を解決し、安心して暮らせる社会づくりを推進する民生委員・児童委員の皆様方からの御支援が不可欠でございます。

皆様には、地域福祉の向上の担い手として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。

さらなる地域福祉の向上のために



茨城県保健福祉部福祉指導課長

柴 義則

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域における様々な住民相談や援助活動等を通じて、地域福祉の向上に御尽力いただいております、厚く御礼申し上げます。

近年、地域社会においては、少子高齢化や地域のつながりの希薄化など、住民を取り巻く環境が変化するなか、高齢者への詐欺事件、孤独死、老老介護、児童虐待など、生活課題がますます複雑・多様化しており、民生委員・児童委員の皆様への期待はより一層高まっております。

一方で、民生委員・児童委員のなりの手の確保が困難な地域もあります。が、県といたしましては、民生委員・児童委員活動の周知・支援に努めて参りますので、引き続き御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 全国民生委員指導者研修会

### 「第27回全国民生委員大学」に参加して

県民児協理事 宇佐美 吉郎

平成30年2月14日～16日の3日間、神奈川県葉山町の「ロフォス湘南」において、全国から115名の参加のもと、指導者研修会が開かれました。本県からは、中野篤理事と宇佐美が参加しました。

研修の冒頭には、記録的な豪雪の中を富山県から駆け付けた得能金市全民児連会長の「次の100年に向けて、日本の社会福祉の屋台骨になるべく、やりがいと誇りを胸に研修と活動を進めてほしい」との挨拶がありました。

初日の研修は、「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けた取り組みと、民生委員・児童委員活動」と題して、厚生労働省社会・援護局地域福祉課の後藤真一郎氏より行政説明がありました。新たな時代に対応した地域の包括的な支援体制の構築が重要との旨の説明がありました。

続いて、全国社会福祉協議会民生部長池上実氏の「これからの民生委員・児童委員活動に向けて」と題した基調報告や、人

権課題となっている障害者差別解消法の理解や同和問題などに関する講義やビデオ視聴がありました。

2日目と3日目は、5～6人ずつの少人数のグループに分かれて、ルーテル学院大学学事顧問・教授市川一宏氏により「安定的・継続的な民児協活動を支えるために」をテーマに、様々な課題が提起され、講義、話し合い、発表の形で研修が進められました。

3日間の研修は、いずれも内容が濃く、全国の民生委員の仲間との情報交換も活発にできるなど、意義ある研修となりました。



## 全国児童委員研究協議会に参加して

県民児協評議員 緑川 昭廣

去る1月24日・25日の両日、新横浜プリンスホテルにて開催され、杉下赫子評議員(水戸市)と共に参加致しました。

松下明全民児連副会長は挨拶の中で今年は創設70周年の節目の年を迎え、活動強化推進方策2017を策定した。新たな方針に向けスタートすることになる。地域の子育ての応援団等になり、一層のご協力をお願いしたい旨、お話しがありました。

行政講話としては「児童福祉の動向と児童委員活動」と題し、厚労省子ども家庭局子育て支援課長 川鍋慎一氏より民生委員法(児童福祉法第16条により児童委員を兼務)、委員の役割、児童虐待、各市町村における支援施策等多岐にわたり講話をいただきました。

続いて「制度創設70周年を迎えた児童委員活動への役割」と称して明治学院大学学長の松原康雄氏より全ての活動は地域との協働と関係機関とのネットワーク、民児協内部の連携が大切であると講話がありました。その後、シンポジウムがあり、

3名の代表者がそれぞれに発表を行いました。

交流会は円卓を囲み、夕食を兼ねて行われました。同席の方々と談笑し、有意義でした。翌日、分科会は4つのグループに分かれてそれぞれに研鑽しました。

私は第2分科会「子どもたちの健やかな育ちを支えるために」に参加し、杉下赫子評議員は第4分科会「低所得者世帯の子どもを支えるためには」で発表する機会を得ました。

「井の中の蛙大海を知らず」にならぬよう本物を見聞し素養を高められた事は大変有意義な協議会でした。



その後、シンポジウムがあり、

# 平成30年度 県民児協事業計画書・収支予算書

## 1 運営方針

今日、個人や世帯を取り巻く環境が大きく変化し、地域においては人と人とのつながりが希薄するなか、社会的孤立、貧困、虐待、ひきこもり等住民の抱える課題は複雑・多様化し、地域においてはさまざまな支援を必要とする人が増加しています。

さらに、自然災害が相次いでおり、地域における住民同士の支え合いの仕組みづくりが重要性を増すなかにあって、民生委員・児童委員への期待は一層大きなものとなっています。

こうした中、昨年、民生委員制度創設100周年及び児童委員制度創設70周年を迎えたことを機に、新たな活動スローガン「支え合う 住みよい社会 地域から」並びに、長期的視点から基本的方針を取りまとめた「民生委員制度創設100周年活動強化方策」及び「児童委員制度創設70周年 全国児童委員活動強化推進方策2017」が定められました。

今年度はこうした動きを受けて、次なる100年に向け

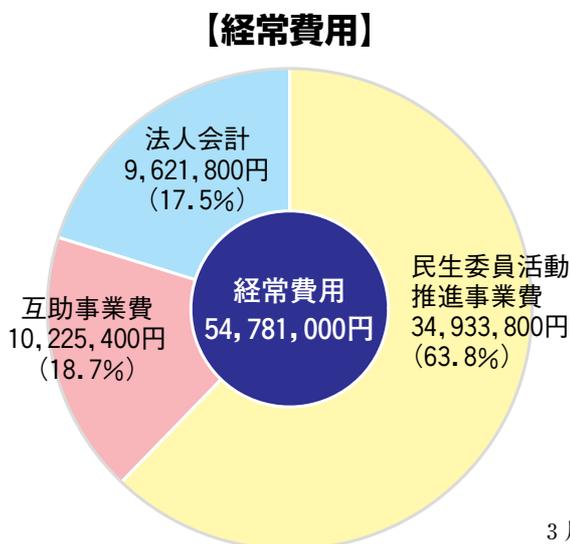
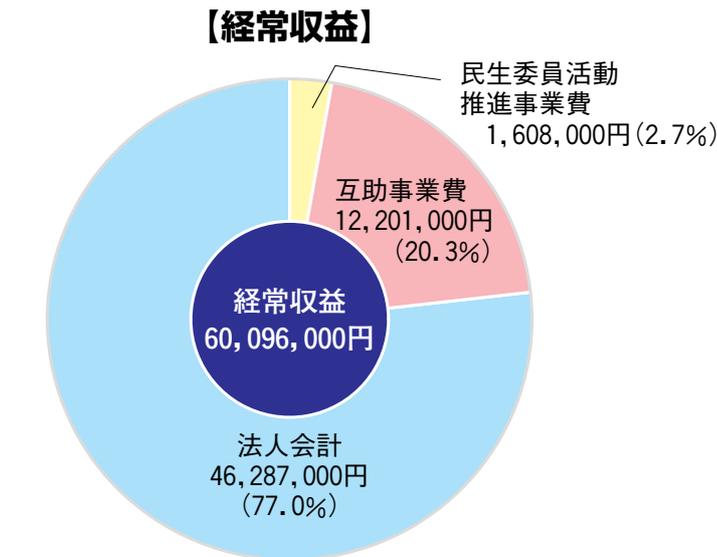
て本格的に取り組みを始める大切な1年です。

私たち民生委員・児童委員は、その力を合わせ、誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくりへの取り組みを進めて行くことが期待されています。全民児連との連携・協働を通じ、日常的な見守り活動等を通して、これからも地域に密着した活動を進め、地域福祉の向上に貢献していきます。

## 2 重点目標

- (1) 地域の実情を把握し、支援を必要とするあらゆる人びとが孤立することがないように訪問や見守り、相談活動の推進
- (2) 虐待やいじめ、体罰、犯罪被害、貧困の連鎖などから子どもたちを守り、健やかな成長を支えるための取り組みの推進
- (3) 住民の多様な生活課題に対応するため、地域の幅広い関係者との連携とともに、住民同士のつながりを強め、支え合い、助けあうことができるまちづくりの推進

## 平成30年度正味財産増減計算書



## 月別事業計画

事項 月	県民児協
4	・民児協いばらき81号編集委員会 ・正副会長及び総務委員合同会議 ・主任児童委員連絡会委員長会議
5	・監事会 ・理事会 ・民児協いばらき81号編集委員会 ・児童福祉部会 ・主任児童委員連絡会委員長会議 ・評議員会 ・評議員会
6	・互助事業運営委員会 ・民児協いばらき81号編集委員会 ・民児協いばらき81号発行(15日) ・市町村民生委員児童委員協議会長・副会長合同研究協議会 県北・県央・鹿行地域(21~22日大洗町)
7	・市町村民生委員児童委員協議会長・副会長合同研究協議会 県南・県西地域(5~6日大洗町) ・主任児童委員連絡会委員長会議 ・主任児童委員研修会(27日水戸市)
8	・全体研修会 (31日茨城県立県民文化センター)
9	・互助事業運営委員会 ・市町村民生委員児童委員教室 県北・県央・鹿行地域(20~21日大洗町) ・理事会
10	・市町村民生委員児童委員教室 県南・県西地域(4~5日大洗町) ・民児協いばらき82号編集委員会 ・第37回茨城県民生委員児童委員大会 (26日茨城県立県民文化センター)
11	・民児協いばらき82号編集委員会 ・主任児童委員連絡会委員長会議
12	・民児協いばらき82号編集委員会 ・互助事業運営委員会 ・正副会長及び総務委員合同会議
1	・民児協いばらき82号発行(15日)
2	・正副会長及び総務委員合同会議
3	・互助事業運営委員会 ・理事会 ・評議員会

3月に開催された平成30年度第4回理事会(12日)及び第2回評議員会(29日)において、平成30年度の事業計画と収支予算書が承認されました。

# 平成29年度 事業報告書・収支決算書 (計算書類等)

## 事業報告

### 1 協議会の運営

- 理事会 (4回)
- 監事会 (1回)
- 評議員会 (2回)
- 正副会長会議 (8回)
- 部会、専門委員会
  - ・総務委員会 (4回)
  - ・編集委員会 (8回)
  - ・児童福祉部会 (1回)
  - ・主任児童委員連絡委員長会議 (4回)

### 2 研究協議会等の開催

- 市町村民生委員児童委員協議会会長・副会長研修 (2会場)
- 市町村民生委員児童委員教室 (2会場)
- 民生委員・児童委員全体研修会 (1会場)
- 主任児童委員研修会 (1会場)

### 3 全国会議等への参加

- 全国民生委員指導者研修会
- 全国民生委員・児童委員リーダー研修会
- 全国主任児童委員研修会
- 全国児童委員研究協議会

- 民生委員・児童委員のための相談技法研修会
- 第86回民生委員制度創設100周年記念  
全国民生委員児童委員大会
- 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
- 都道府県・指定都市民生委員児童委員事務局会議

### 4 市町村民生委員活動の推進

- 指定民児協
  - ・常陸太田市里美地区民生委員児童委員協議会
  - ・ひたちなか市田彦地区民生委員児童委員協議会
  - ・結城市民生委員児童委員協議会
  - ・美浦村民生委員児童委員協議会

### 5 茨城県民生委員児童委員大会

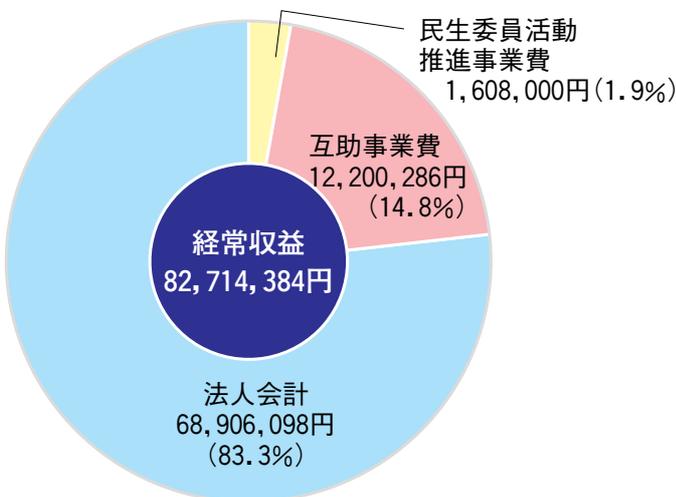
- 第36回茨城県民生委員児童委員大会 (1会場)

### 6 その他の主な事業

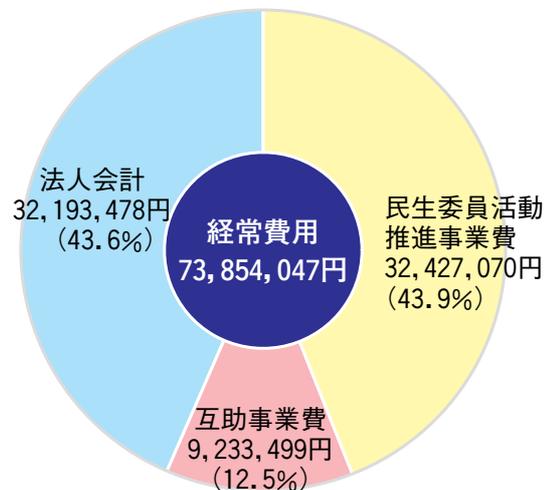
- 「民生委員児童委員の日活動強化週間」の取り組み強化 (5月12日～18日)
- 情報の提供
  - ・民児協いばらきの発行 (2回)
- 互助事業の実施
  - ・全国民生委員児童委員互助事業及び県互助事業の実施

## 平成29年度正味財産増減計算書

### 【経常収益】



### 【経常費用】



5月に開催された平成30年度第1回理事会(11日)及び第1回評議員会(29日)において、平成29年度の事業報告書及び収支決算書(計算書類等)が承認されました。

# 協 だ よ り

## 東海村

### 東海村民児協活動について

東海村民児協会長 井坂 幸子

東海村は人口約3万8千人、高齢化率24・2%の地域です。一つの単位民児協で構成され、65名(うち主任児童委員3名)で日々の活動に取り組んでいます。

主な活動内容は、対象者への訪問・相談活動のほか、行政等関係機関への連絡・通報・情報提供、定例会や研修会への出席など多岐にわたっています。特に、70歳以上の高齢者を対象とした「高齢者状況調査」では、高齢者の実態把握を行い、福祉サービス活動における基礎資料として活用し、災害や行方不明等の緊急時に関係機関と迅速な対応を図るために欠かせないものとなっています。

また、昨年度は民生委員制度創設100周年に当たり、全国に先駆けて『支えよう・心で結ぶ・地域の輪』を民児協独自のスローガンとして掲げ、活動の方向性や重点的に取り組むべき課題として地域のつながり、地域の力を高めるために推進しています。

さらに、民児協では女性部「こもれび」があり、女性の特性を活かした活動を積極的に行っています。例えば、病院での衣服や身の回りの品の製作・補修などのボランティア活動、あるいは障がい者施設での月一回の調理実習のサポートなど実施しております。

これらの活動を通して、さらに地域の良き相談相手として関係機関と連携し、研修や融和を深める良い機会を増やしていきたいと考えております。



## つくば市

### つくば市荃崎地区民児協活動について

前つくば市荃崎地区民児協会長 関口 光治

人口23万人のつくば市は、桜、谷田部、大穂、豊里、筑波、荃崎と6地区において活動しており、荃崎地区は42名(うち主任児童委員2名)の委員で構成されています。

つくば市の高齢化率は19・0%と県の平均を下回り県内で最も低い状況にあります。荃崎地区では36・1%であり、市内で最も高い状況です。このような状況の中で、先の東日本大震災の経験を踏まえ、私達民児協でも災害時の対策を何か考えておかなければならないとの思いから、荃崎地区では災害時に備えた体制を作りました。特に支援を要する「一人暮らし高齢者」や「高齢者世帯」、「障害者世帯」に対して、安否確認と迅速な対応を取るために徒歩での行動を基本とし、状況によっては自転車での活動も想定して担当者を決めています。

また、情報を速やかに関係機関に連絡できるよう、荃崎地区を1班から7班までの「班」に編成し、「災害時に備えた体制」を確立しています。

定期的な活動としては、災害時にいつでも避難できる場所を確保するため、神社やお寺、介護施設等の現地視察をして現場の方との意見交換を行ったり、消防署員を招いた救急救命講習、学校との連携を図りながら防災会議にも積極的に参加しています。さらに、各班がそれぞれ防災関係の研修を行い、結果を定例会で発表して委員全員で共有できるようにしています。



# 地 区 民 児

## 利根町

### 利根町民児協活動について

利根町民児協会長 中野 傳功

利根町は茨城県の南に位置し、利根川に寄り添っている小さな町です。

人口は1万6千人と減少の歯止めがきかず、高齢化率は41%と本県で二番目に高齢化が進行しており、私たち民児協は42名(うち主任児童委員2名)の委員で活動をしています。

昨年は、「民生委員制度創設100周年」の節目にあたり、全委員の協力のもと、民生委員制度のPR活動として、町の社協まつりや地場産業フェスティバルにおいて、人々とふれ合うためにゲームコーナーを設置したり、民生委員制度に関するアンケート調査を行い、活動に生かしています。

今年もPR活動を継続的に推進していくために、5月12日が「民生委員・児童委員の日」となっているので、5月の一ヶ月間を「活動強化月間」として、一人暮らし高齢者への一斉訪問活動を実施しました。「ひとりぐらし高齢者台帳」をもとに、見守り、聞き取り、ふれ合い活動を行いました。特に聞き取りの結果、台帳を作成してから年数が経過しているものについて記載内容を充実させることができました。

今後、いっそう高齢化社会が進む中で、私たちは地域の皆さんとともに生き、寄り添い、見守り、支える活動を行い、「地域共生社会」の実現を目指して101年を歩んでいきます。



## 下妻市

### 下妻市民児協活動について

下妻市民児協会長 坂野 徹

私たち下妻市民児協は、82名(うち主任児童委員4名)の委員で構成されています。そして、地区代表等で組織された運営委員会での協議のもとに、定例会をはじめ、さまざまな事業・活動を展開しています。ここでは、その中から、二つの活動例を紹介します。

① 3月定例会時の事例研修です。これは、日頃の活動の中で経験した、困難なケースについての発表をもとに研修するもので、災害時の要支援者の避難行動への支援・孤独死に直面した時の対応など、具体的な実際の事例から学ぶことは多く、各委員にとっては大変貴重な研修の機会となっています。

② 委員活動強化週間の取組です。以前、地域住民を対象に、民生委員・児童委員の認知度に関わる調査を実施したところ、約半数が、地区の民生委員を知らないという残念な結果でした。それを踏まえ、昨年度は、区長さん方のご協力をいただきながら、活動の紹介と委員全員の名簿を掲載したチラシを全世帯に配付する活動に取り組み、更に、今年度は、委員全員が、市内の大型店舗等で、活動PRの街頭キャンペーンに取り組みました。

これからも、下妻市民児協として、地域の身近な相談相手であることの周知に努め、区長会等、関係諸機関とも情報を共有し、緊密に連携しながら、地域住民に寄り添った活動を丁寧に進めていきたいと考えています。



# 事務局だより

## ◎ 祝受賞

この度、次の方が栄えある褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○褒章  
藍綬褒章

安 正 機(ひたちなか市)

## 役員紹介

平成30年5月の定例評議員会において、役員任期満了に伴う改選があり、次の方が選任されました。

### 役員

- 会長 竹内 昌信(小美玉市)
- 副会長 佐野 道夫(土浦市)
- 副会長 大内 元一(水戸市)
- 副会長 安 正機(ひたちなか市)
- 理事 宇佐美吉郎(日立市)
- 理事 鈴木 直美(結城市)
- 理事 高橋 章夫(取手市)
- 理事 加藤 護(那珂市)
- 理事 倉持 嘉男(坂東市)
- 理事 黒田 伸治(稲敷市)
- 理事 今郡 利夫(神栖市)
- 理事 中野 篤(久慈郡)
- 理事 柴 義則(茨城県)
- 常務理事 加藤 祐司
- 監事 久保田敏雄(かすみがうら市)
- 監事 菅谷與志雄(鉾田市)

監事 井坂 幸子(那珂郡)

平成30年3月及び5月の定例評議員会において、評議員の補充選任があり、次の方が選任されました。

### ◎ 評議員

- 「坂東市」花島美津子
- 「稲敷郡」篠田 孝
- 「潮来市」内田 正雄

### ● 県保健福祉部の主な組織改正

#### 民生委員・児童委員関係

(平成30年4月1日)

- 福祉担当部長(新設)
- 地域ケア推進課(旧長寿福祉課地域ケア推進室)
- 健康長寿福祉課(旧長寿福祉課)
- 青少年家庭課(旧子ども家庭課)

### ● 県保健福祉部の人事異動

#### 民生委員・児童委員関係

(平成30年4月1日)(敬称略)

- 部長 木庭 愛(留任)
- 福祉担当部長 関 清一(新任)
- 次長兼医療局長 吉添 裕明(新任)
- 次長 石川 真澄(新任)
- 子ども政策局長 國松 永稔(新任)
- 厚生総務課長 石橋 秀治(新任)
- 地域ケア推進課長 森田 達也(新任)
- 福祉指導課長 柴 義則(新任)
- 健康長寿福祉課長 杉山 順彦(留任)
- 障害福祉課長 松山 和規(留任)
- 青少年家庭課長 下山田義弘(新任)
- 福祉相談センター長 荒井 正徳(留任)

- 中央児童相談所長 岡田 崇弘(留任)
- 土浦児童相談所長 高橋 活夫(留任)
- 筑西児童相談所長 川和 幸夫(留任)

### ● お知らせ

#### 平成30年度県民児協主催の研修会及び県大会予定

○市町村民生委員児童委員協議会  
会長・副会長合同研修協議会

#### 【県北・県央・鹿行地域】

6月21日(木)～22日(金)

大洗シーサイドホテル

#### 【県南・県西地域】

7月5日(木)～6日(金)

大洗シーサイドホテル

○市町村民生委員児童委員教室

#### 【県北・県央・鹿行地域】

9月20日(木)～21日(金)

大洗シーサイドホテル

#### 【県南・県西地域】

10月4日(木)～5日(金)

大洗シーサイドホテル

○主任児童委員研修会

#### 【県内全域】

7月27日(金)

県総合福祉会館

○民生委員児童委員全体研修会

#### 【県内全域】

8月31日(金)

県立県民文化センター

○第37回茨城県民生委員児童委員大会

10月26日(金)

県立県民文化センター

## 編集後記

先日、編集会議の中で、編集委員が所属している民児協の現状を、話し合うことができ大変有意義であった。

民生委員・児童委員活動の変容と取り扱う事案が年々増加傾向にある中で、町内会(自治会)や、子ども会育成会等に加入しない世帯が増加している。そんな状況にもかかわらず、個人情報保護法がらみで十分な情報が得られず、活動が後手となる場合が発生し、民生委員・児童委員ひとりの活動には、大変厳しいものを感じる。

次の100年に向けて活動を紡いでいくためには、行政や関連団体、特に町内会(自治会)と、今まで以上に密接に連携し、ともに活動していくことが求められていると思えます。

今後、地域住民の身近な相談相手となれるよう日々研鑽して頑張ります。

編集委員 伊勢重憲

### 発行人

一般財団法人  
茨城県民生委員児童委員協議会  
会長 竹内 昌信

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

URL: <http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>

E-mail: [iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp](mailto:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp)